

7月例会 “余呉湖とあじさい”

涼風を受けながら余呉湖畔の歴史の足跡、語り継がれる伝説やあじさいが咲き誇るあじさい園など自然豊かな湖畔を巡ります。



平成29年5月17日
地域文化学科

1. 実施日 平成29年6月29日（木） 雨天決行
当日午前7時の天気予報（滋賀南部）で暴風・大雨警報がでている場合は中止。
不明の場合はクラス幹事にご確認ください。
2. 申込締切 6月15日（木）
3. 集合場所・時間及び電車時刻
JR 余呉駅前10時35分集合
琵琶湖線ルート（快速近江塩津行）
大津発 8:55分→草津発 9:16分→近江八幡発 9:35分→余呉着 10:32分
※米原から4両編成（12両→4両）になります。前4両が近江塩津行きとなりますが、念のため車内放送で確認ください。
湖西線ルート（新快速敦賀行に乗り、近江塩津で新快速姫路行に乗り換え）
大津京発 8:32分→堅田発 8:42分→近江塩津着 9:37分（乗り換え）
近江塩津発 10:05分→余呉着 10:10分
4. 参加費 なし
5. 歩行距離 約7km 平坦地のみ
6. 行程
余呉駅→羽衣伝説衣掛柳→（ビジターセンター）→ワカサギ釣り栈橋→
句碑（大橋櫻坡子他）→菊石姫と蛇の目玉石→あじさい公園（昼食と散策）
→句碑（斎部路通）→サワオグルマ群生地→句碑（山口誓子）→取水口→
烏帽子岩とお膳岩→余呉観光会館（休憩とお買い物）→余呉駅（15時着予定）
※雨天時はビジターセンターで早い昼食をとります。
7. 帰路の電車時刻
琵琶湖線ルート（新快速播州赤穂行）
余呉発 15:10分→近江八幡着 16:06分→草津着 16:20分→大津着 16:32分
湖西線ルート（近江塩津行に乗り、近江塩津で新快速姫路行に乗り換え）
余呉発 15:29分→近江塩津着 15:34分（乗り換え）
近江塩津発 15:40分→堅田着 16:38分→大津京着 16:47分
8. 持ち物
お弁当・飲み物・雨具・筆記用具・保険証など

9. コースの概要

「余呉湖」

周囲 6.4km、平均水深 7.4m、水面の海拔は 132.8m で、琵琶湖とは約 50m の落差がある。琵琶湖と同じ断層湖で、琵琶湖の一部だったものが約 3 万年前に分かれたとされる。歴史や伝説の足跡が残る自然豊かな場所である。

「羽衣伝説衣掛柳」

日本の天女伝説は、北は北海道から南は沖縄まで 50 余箇所にあるという。余呉湖、三保の松原、丹後の奈具が日本 3 大天女伝説となっていて、余呉以外の地域の天女伝説では羽衣をかけるのは松がほとんどであり、柳が登場するのは余呉だけとか。この柳は中国系と説明されている。

「ワカサギ釣り棧橋」

余呉湖の冬の風物詩であるワカサギ釣り、毎年多くの人を訪れる。

「句碑」大橋櫻坡子（おおはしおうはし）木之本町出身の俳人

「鳥雲に水の近江を故郷とし」

大橋敦子（父 櫻坡子の娘） 「わかさぎの湖あかときの茜差す」

「菊石姫と蛇の目玉石」

仁明天皇（平安時代初期）の頃、領主桐畑太夫の娘の菊石姫が干ばつ時に余呉湖に身を投げ、蛇身となって雨をふらせ、母に疫病の薬にと蛇の目玉を抜き取って湖中から投げたところ、石に目玉が落ちて跡が残ったので、以来この石を「蛇の目玉石」と言われているが、他にも説がある。

「余呉湖あじさい園」

旧余呉町が昭和五十年代に県の自然公園である余呉湖畔の一角にあじさいを植えたのが始まりで、湖畔約 600m に約一万本が植えられている。

「深層曝気装置」

湖上に有り、湖底近くにコンプレッサーで送気し、湖水の上昇・下降や横への広がりにより、深層水の酸素を増やし、アオコの増殖を防ぐ。あじさい園内に管理施設がある。

「句碑：斎部路通」

芭蕉門下の斎部路通が余呉湖で詠んだ句「鳥共も寝入りてあるか余呉の海」

「サワオグルマ群生地」

サワオグルマはキク科の植物で、日当たりのよい湿地、田の畔などに群生する多年生の日本特産種である。緑の季節を迎える頃にスクッと茎を立てた黄色い花を咲かせる。

「句碑：山口誓子」

現代俳句の巨匠・山口誓子が、余呉湖を訪れた際に詠んだ自筆の句碑

『秋晴に湖に自噴を想ひみる』

「放水隧道取水口」

余呉湖は、余呉川沿いの洪水被害の軽減と湖北地方一帯のかんがい用水補給のために、余呉川からの導水路、各種調節ゲート、放水路等を設置してダムとしての機能を付加している。飯浦で琵琶湖から取入れ、ここから放流する。

「鳥帽子岩・お膳岩」

鳥帽子に見えることから鳥帽子岩の名で親しまれているが、男岩・女岩の 2 つの岩がひとつに重なっているところから、『結びの岩』とも呼ばれている。

以上